

2024年3月期 決算説明会資料

 **OKUMURA CORPORATION**

2024年5月14日開催

I .2024年3月期決算および2025年3月期業績予想

 **OKUMURA CORPORATION**

■連結決算の概要

(単位：億円)

	2023/3期	2024/3期		
	実績	予想(2月公表値)	実績	対前期増減率
売上高	2,494	2,851	2,881	15.5%
売上総利益	320	351	351	10.0%
営業利益	118	137	137	15.7%
経常利益	129	144	148	15.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	112	119	124	10.9%

【Topics】

〈予想比〉

- ・売上高：建築事業で大幅に増加
連結子会社の石狩バイオエナジーで減少
- ・売上総利益：主に建築事業で増加
石狩バイオエナジーの売上高の減少に伴う売上総利益の減少
- ・経常利益：為替差益の計上で増加

■連結B/S

(単位：億円)

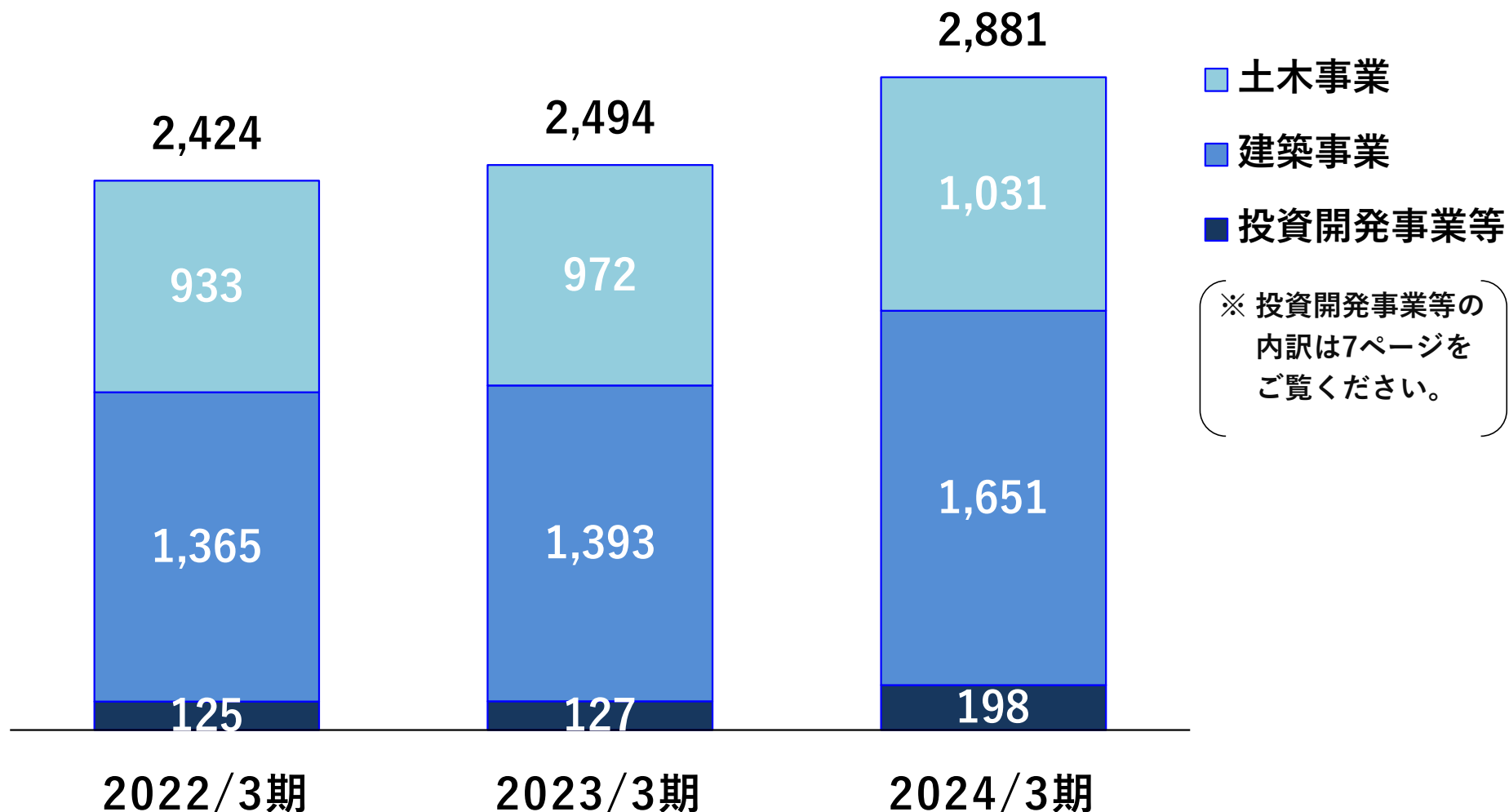
	2023/3期末	2024/3期末	増減		2023/3期末	2024/3期末	増減
流動資産	1,988	2,204	215	流動負債	1,290	1,463	173
現金預金	402	302	▲99	支払手形・工事未払金等	502	520	18
受取手形・ 完成工事未収入金等	1,324	1,723	398	短期借入金	107	167	59
有価証券	100	-	▲100	未成工事受入金	125	191	65
				固定負債	414	468	53
				長期借入金	31	51	19
				ノンリコース借入金	260	223	▲36
固定資産	1,448	1,643	194	繰延税金負債	119	187	67
有形固定資産	771	754	▲16	負債合計	1,705	1,931	226
無形固定資産	16	18	1	株主資本	1,447	1,486	39
投資その他の資産	660	870	209	利益剰余金	1,038	1,076	38
投資有価証券	549	687	138	その他の包括利益累計額	272	400	127
				その他有価証券評価差額金	248	349	101
				非支配株主持分	12	28	16
				純資産合計	1,732	1,915	183
資産合計	3,437	3,847	410	負債純資産合計	3,437	3,847	410

【Topics】

- ・手持工事や施工高の増加等によって資金立替が大幅に増えた
- ・上場株式7銘柄、非上場株式5銘柄を売却した一方で、保有株式の含み益は増加
- ・自己資本比率：49.0%（前期比1.0ポイントダウン）

■連結P/L(売上高)

(単位：億円)

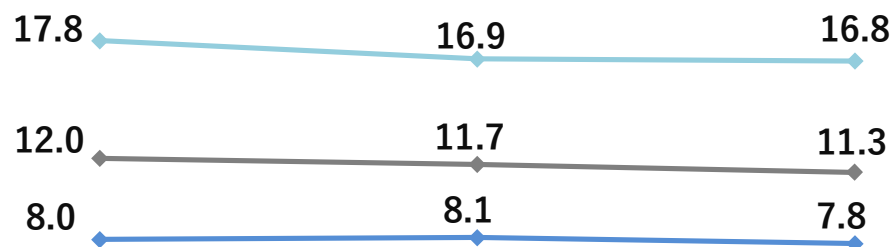


【Topics】

- ・ 高水準な繰越工事高により建設事業の売上高が増加
- ・ バイオマス発電の営業運転開始により投資開発事業等の売上高が増加

■連結P/L(売上総利益)

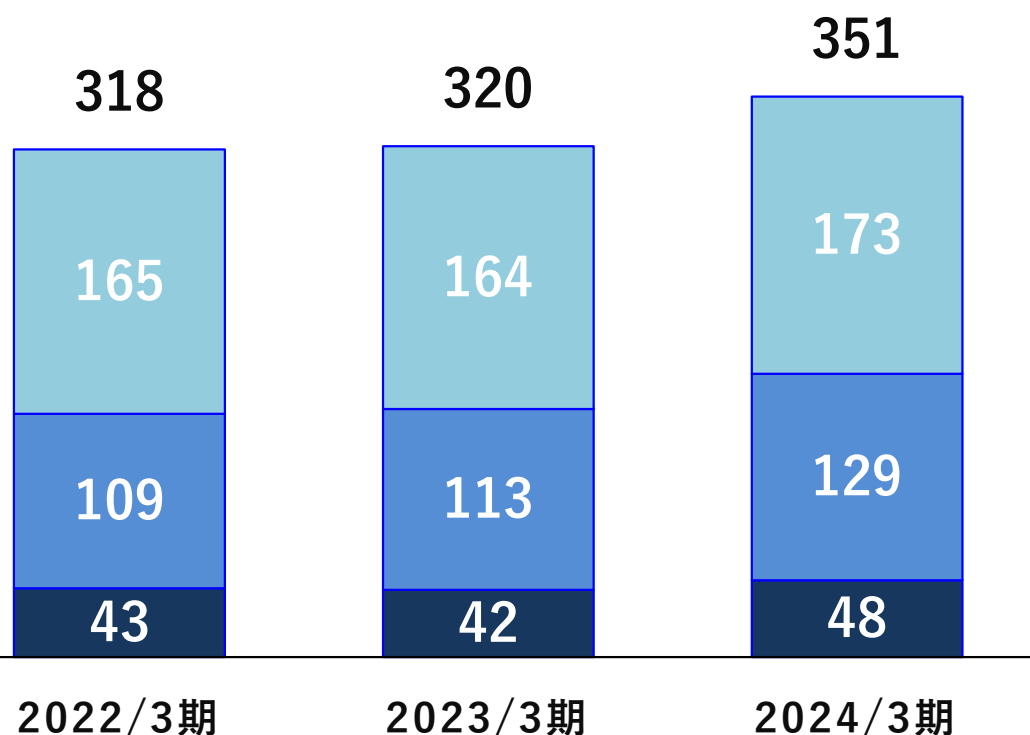
(単位：億円、%)



- ◆ 完成工事総利益率 (建設事業計)
- ◆ 完成工事総利益率 (土木)
- ◆ 完成工事総利益率 (建築)

- 土木事業
- 建築事業
- 投資開発事業等

※ 投資開発事業等の内訳は7ページをご覧ください。



【工事損失引当金】

土木	⇒ 1.2億円減少(6.1億円)	⇒ 4.8億円
	工事完成によるもの	▲5.3億円
	引当不足によるもの	+4.0億円
建築	⇒ 5.7億円減少(9.5億円)	⇒ 3.7億円
	工事完成によるもの	▲0.7億円
	引当超過によるもの	▲5.0億円

【Topics】

- ・ 土木：完成工事高の増加、大型工事を含む複数の工事で竣工に伴う損益改善
- ・ 建築：完成工事高の増加

■投資開発事業等の内訳

(単位：億円)

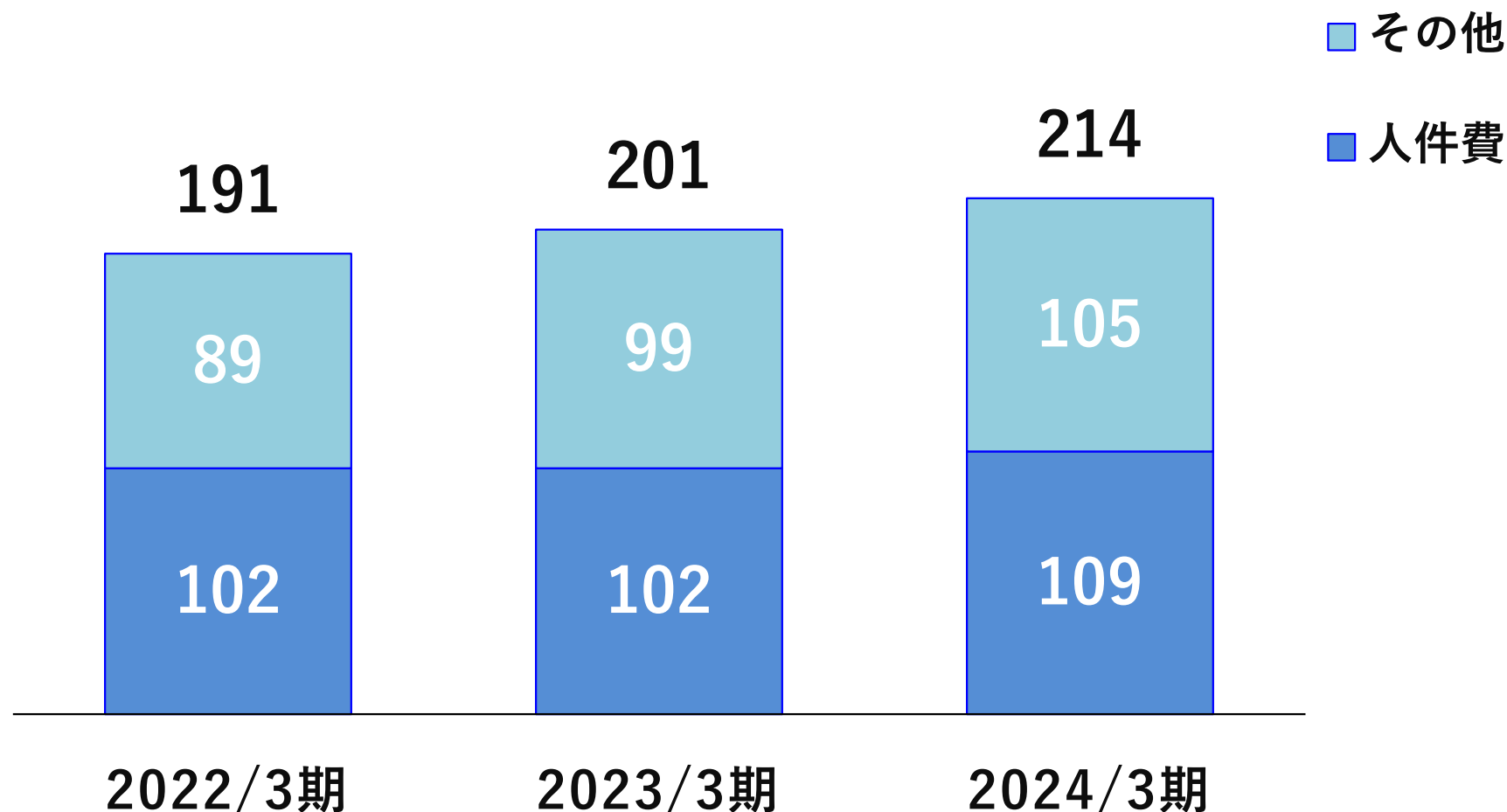
		2022/3期		2023/3期		2024/3期		
売上高	不動産事業	48		48		49		
	〔販売〕 〔賃貸〕	販売	5		6		8	
		賃貸	42		42		41	
	新事業	0		32		92		
	その他	77		46		55		
	合計	125	100%	127	100%	198	100%	
売上総利益	不動産事業	33	70.1%	34	70.6%	33	67.8%	
	〔販売〕 〔賃貸〕	販売	1	28.4%	1	28.7%	2	28.4%
		賃貸	32	75.9%	32	76.7%	31	75.9%
	新事業	▲0	▲16.7%	0	1.4%	5	6.0%	
	その他	9	12.3%	7	17.0%	9	16.7%	
	合計	43	34.3%	42	33.2%	48	24.6%	

【Topics】

- ・新事業：石狩バイオエナジーが1年間継続して営業運転を実施
2023年4月から平田バイオエナジーの2号機も営業運転を開始
⇒売上高、売上総利益が増加

■連結P/L(一般管理費)

(単位：億円)



【Topics】

- ・ 人件費：2022年4月新設の技術本部の拡充等
- ・ その他：ICT関連費用の増加

新オフィス「クロスイノベーションセンター」の開設

■連結P/L(営業外収支・特別損益)

(単位：億円)

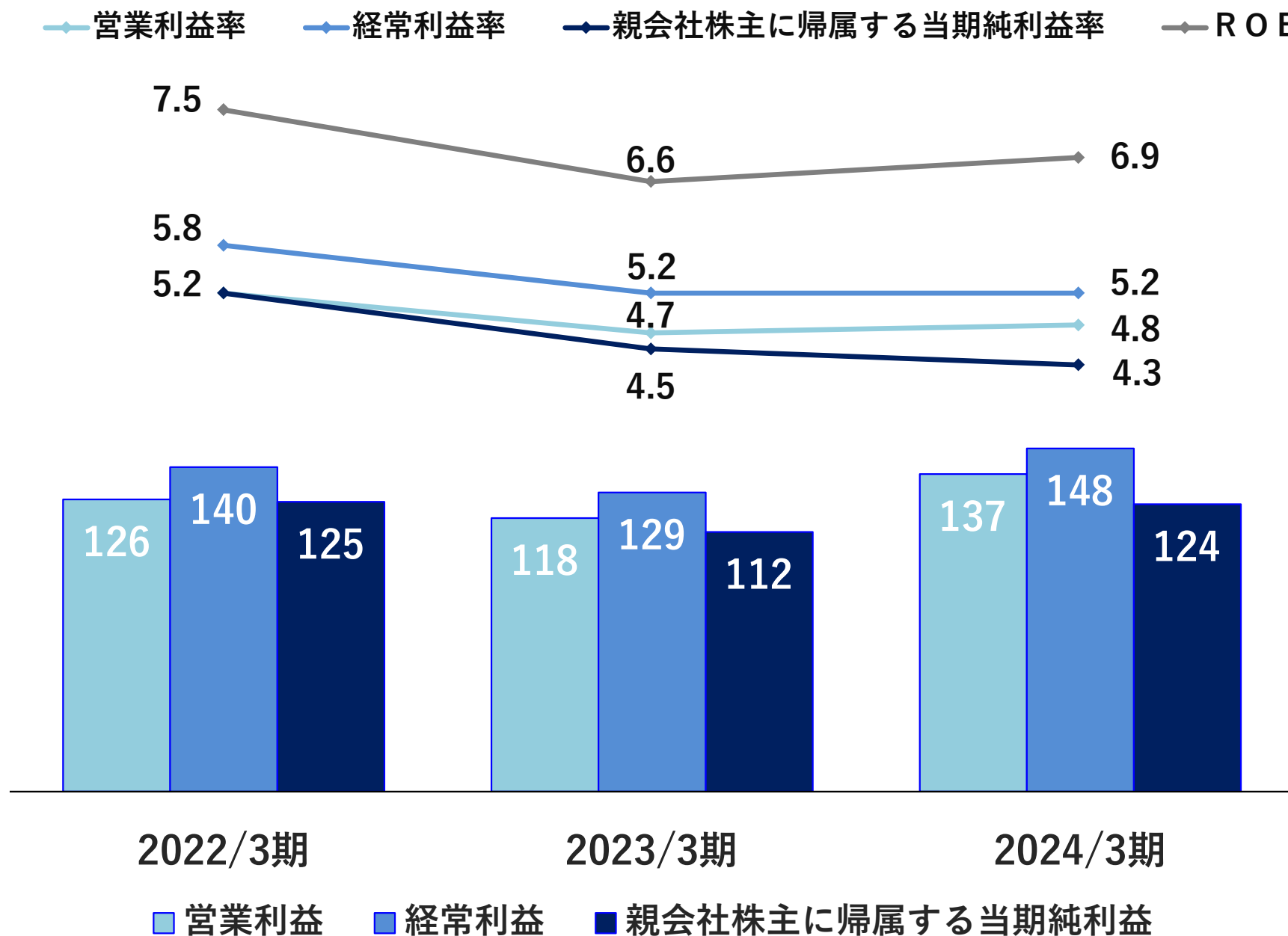
	2023/3期	2024/3期	
	実績	実績	増減
営業外収益	16	18	2
受取利息配当金	11	13	1
為替差益	1	3	1
営業外費用	6	7	1
支払利息	5	6	0
営業外収支	10	11	1
特別利益	30	39	8
投資有価証券売却益	30	32	1
その他	0	7	6
特別損失	6	6	▲0
固定資産除却損	5	5	▲0
特別損益	24	32	8

【Topics】

- ・特別利益：上場株式7銘柄、非上場株式5銘柄の売却
旧四国支店跡地の売却等

利益・ROEの推移（連結）

（単位：億円、％）



■1株当たり配当額

	2022/3期	2023/3期	2024/3期
中間配当	65円	66円	77円
期末配当	107円	157円	(※1)160円
年間合計	172円	223円	237円

(※1) 2024/3期の期末配当額については、2024年6月開催予定の定時株主総会の決議をもって正式に決定、実施する予定です。

◇当社の株主還元政策（2023/3期～2025/3期）

連結配当性向70%以上

業績にかかわらず自己資本配当率（DOE）^(※2) 2.0%を下限とする。

(※2) 自己資本配当率（DOE） = 配当総額 ÷ 自己資本

【Topics】

- ・2024年2月に公表した年間配当予想225円から12円増配
- ・連結配当性向：70.4%

■連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：億円)

	2022/3期	2023/3期	2024/3期	
	実績	実績	実績	増減
営業キャッシュ・フロー	182	179	▲171	▲350
投資キャッシュ・フロー	▲27	7	14	6
財務キャッシュ・フロー	▲42	▲15	▲43	▲27
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	0	1	0
増減額	114	171	▲198	▲370
現金及び現金同等物の期首残高	201	316	487	171
現金及び現金同等物の 期末残高	316	487	289	▲198

【Topics】

- ・ 営業キャッシュ・フロー：税金等調整前当期純利益の計上等により増加したものの、売上債権の増加等により資金減少
- ・ 投資キャッシュ・フロー：有形固定資産の取得による支出等により減少したものの、投資有価証券の売却による収入等により資金増加
- ・ 財務キャッシュ・フロー：借入金の増加等により増加したものの、配当金の支払い等により資金減少

■連結業績予想

(単位：億円)

		2024/3期		2025/3期		
		実績		予想		増減
売上高	建設事業	2,683		2,870		186
	土木建築	1,031		1,030		▲1
		1,651		1,840		188
	投資開発事業等	198		199		0
	合計	2,881	100%	3,069	100%	187
売上総利益	建設事業	303	11.3%	311	10.8%	7
	土木建築	173	16.8%	151	14.7%	▲22
		129	7.8%	160	8.7%	30
	投資開発事業等	48	24.6%	39	19.6%	▲9
	合計	351	12.2%	350	11.4%	▲1
	一般管理費	214	7.4%	215	7.0%	0
	営業利益	137	4.8%	135	4.4%	▲2

【Topics】

- ・土木：売上高は、前期並み
売上総利益は、現時点では前期のような竣工工事の損益改善等が見込めず減益
- ・建築：高水準の繰越工事、大型工事の受注等により大幅な増収増益
- ・投資開発事業等：収益物件の大規模修繕を見込んでいること、バイオマス発電の発電停止期間を保守的に見込んでいること等から大幅な減益

■ 連結業績予想

(単位：億円)

	2024/3期		2025/3期		
	実績		予想		増減
営業外収益	18	0.7%	15	0.5%	▲3
営業外費用	7	0.3%	8	0.3%	0
経常利益	148	5.2%	142	4.6%	▲6
特別損益	32	1.1%	35	1.2%	2
税金等調整前当期純利益	181	6.3%	177	5.8%	▲4
法人税等	60	2.1%	57	1.9%	▲3
当期純利益	121	4.2%	120	3.9%	▲1
非支配株主に帰属する 当期純利益	▲3	▲0.1%	▲6	▲0.2%	▲2
親会社株主に帰属する 当期純利益	124	4.3%	126	4.1%	1
R O E	6.9%		7.0%程度		

【Topics】

- ・ 特別損益：投資有価証券の売却益35億円を計上する見込み

■1株当たり配当額予定

	2023/3期	2024/3期	2025/3期予定
中間配当	66円	77円	113円
期末配当	157円	160円	130円
年間合計	223円	237円	243円

◇当社の株主還元政策（2023/3期～2025/3期）

連結配当性向70%以上

(※)

業績にかかわらず自己資本配当率（DOE）2.0%を下限とする。

(※) 自己資本配当率（DOE） = 配当総額 ÷ 自己資本

【Topics】

- ・年間配当は6円増配
- ・連結配当性向：71.6%

■参考：受注高(個別)

(単位：億円)

	2023/3期	2024/3期		2025/3期
	実績	実績	対前期増減率	予想
土 木	878	1,058	20.5%	1,200
官公庁	654	785	20.0%	1,000
民間	223	272	21.9%	200
建 築	1,920	2,310	20.3%	1,600
官公庁	229	526	129.3%	200
民間	1,690	1,783	5.5%	1,400
合 計	2,799	3,368	20.4%	2,800

【Topics】

〈2024/3期実績〉

- ・受注高：（建築）大型工事等の受注により大幅に増加
- ・繰越工事高：（土木）1,937億円 （建築）2,729億円 （合計）4,666億円

〈2025/3期予想〉

- ・受注高：（建築）繰越工事の増加に伴い、施工体制等を勘案した見込額としている

II.中期経営計画（2022～2024年度）の進捗状況等

 **OKUMURA CORPORATION**

■2030年に向けたビジョンと中期経営計画

《奥村組のパーパス》

【人と自然を、技術でむすぶ。】

当社は、1907年の創業以来、『堅実経営』と『誠実施工』を信条に、事業を通じて社会に貢献することを使命としています。

これからも技術の研鑽を積み重ねるとともに社会のニーズの変化に柔軟に対応しながら、土木・建築両事業に投資開発事業等を加えた総合インフラストラクチャー企業として、建設会社の枠を超え、人々の快適で安全・安心な暮らしと美しい自然を両立させた持続可能な社会の実現を目指し、着実に歩みを進めていきます。

《2030年に向けたビジョン》

企業価値の向上に努め、業界内でのポジションを高める

持続的な成長に向け事業領域を拡大し、強固な収益基盤を築く

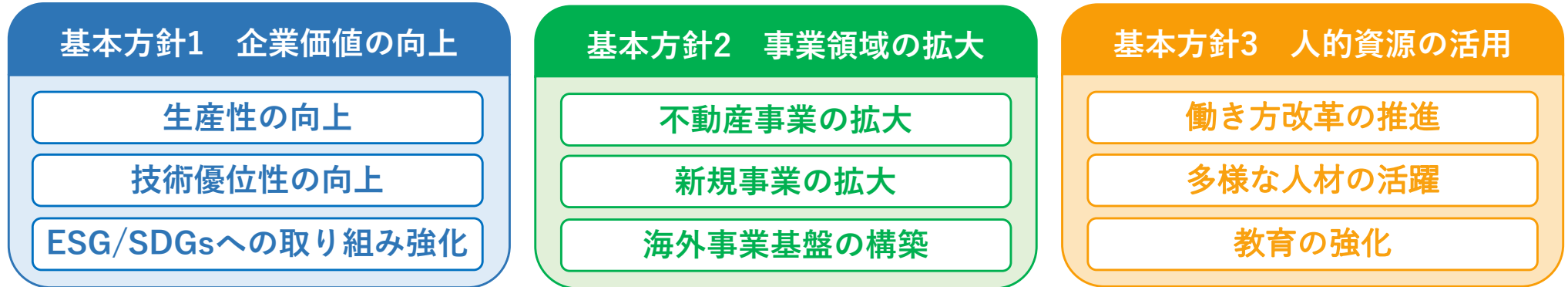
人を活かし、人を大切にする、社員が誇れる企業へ

【私たちの思い】

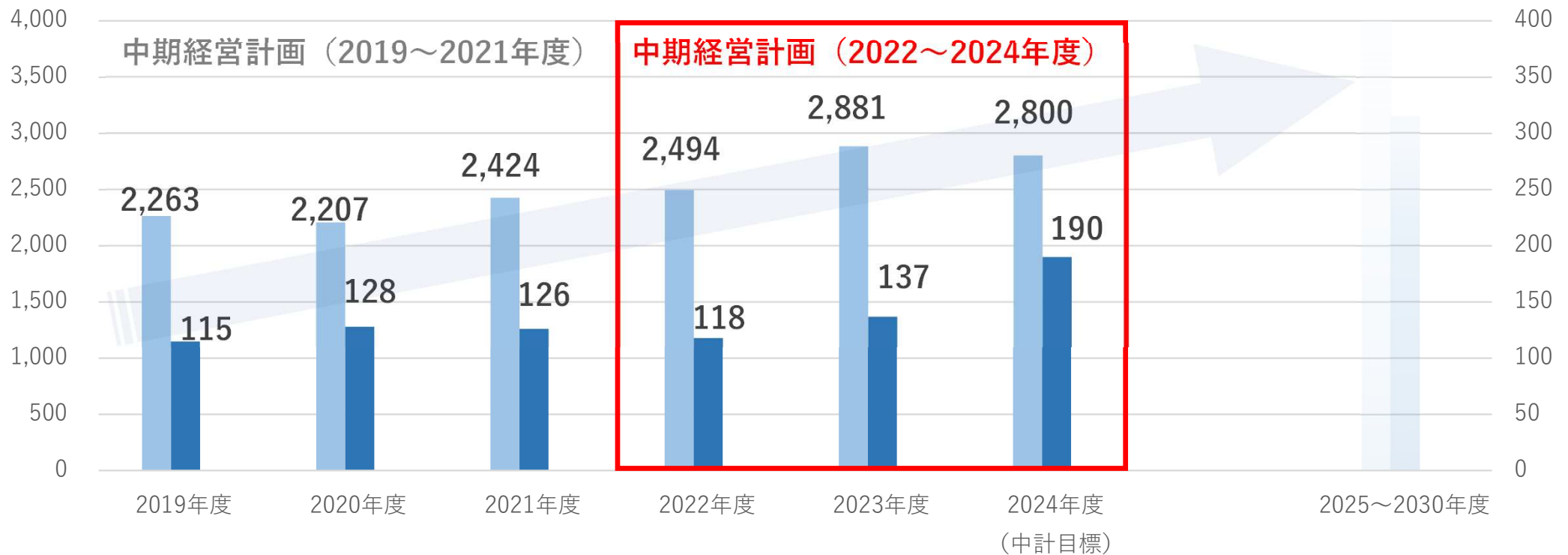
私たち奥村組グループは、社会の持続的な発展に貢献するために社会のニーズの変化を見据えて事業・サービスを展開するとともに、確かな技術と誠実な事業運営により、社会の信頼に応え、安心を提供し、関係する全ての人とともに豊かさを分かち合い、成長し続ける企業グループでありたいと考えます。

2030年に向けたビジョンと中期経営計画

《中期経営計画（2022～2024年度）》



■ 連結売上高（左目盛り、単位：億円） ■ 連結営業利益（右目盛り、単位：億円）



■中期経営計画 – 主要数値目標(財務)の進捗状況 –

(単位：億円)

連結項目	2022年度	2023年度	2024年度 (業績予想)	2024年度 (目標)
売上高	2,494	2,881	3,069	2,800
営業利益 (営業利益率)	118 (4.7%)	137 (4.8%)	135 (4.4%)	190 (6.8%)
経常利益 (経常利益率)	129 (5.2%)	148 (5.2%)	142 (4.6%)	200 (7.1%)
R O E	6.6%	6.9%	7.0%程度	8%以上
【参考】個別受注高	2,799	3,368	2,800	

【Topics】

- ・売上高については、堅調な受注や新事業であるバイオマス発電の営業運転開始により、中計2年目(2023年度)に前倒しで目標を達成
 - ・営業利益については、建設事業が想定を超える資材価格高騰の影響等により厳しい状況に置かれたこと、投資開発事業等において2024年度に所有している収益物件の大規模修繕を見込んでいることやバイオマス発電所の法定点検(発電停止期間)等による減益要因があることなどから現時点の業績予想(2024年度)は目標に達していない
- ⇒これまでの計画推進により手持工事は相当量を確保できており(2009年度の工事進行基準の全面適用以降、繰越工事高が最高値)、これら工事損益のさらなる改善を図るとともに、引き続き政策保有株式の縮減を進めるなど資本効率を高めることで、目標達成を目指す

■ 中期経営計画 – 主要数値目標(非財務)の進捗状況 –

	2022年度	2023年度	2024年度 (目標)
再生可能エネルギー(再エネ)由来電力の安定供給			
再エネ事業による発電量	7.7万MWh/年 [約4.1万t-CO ₂ /年]	18.4万MWh/年 [約9.7万t-CO ₂ /年]	18万MWh/年以上 [8万t-CO ₂ /年以上のCO ₂ 排出量削減に貢献することを目指す]
施工段階におけるCO₂排出量削減施策の推進			
建設事業によるCO ₂ 排出量	23.07t-CO ₂ /億円 [約5.8万t-CO ₂ /年]	21.11t-CO ₂ /億円 [約5.9万t-CO ₂ /年]	21.21t-CO ₂ /億円未満 [6万t-CO ₂ /年未満にCO ₂ 排出量を抑制することを目指す]
設計段階におけるCO₂排出量削減施策の推進			
設計施工建物の運用エネルギー	35.0%削減	39.6%削減	30%以上*削減 [ZEB推進等により建物運用時のCO ₂ 排出量を30%*以上削減することを目指す]

* 2013年度比

【Topics】

- ・ 新事業であるバイオマス発電所の安定稼働、省エネを考慮した施工計画・建設機械の採用、設計段階におけるZEB化推進等に取り組んでいる
- ⇒ これまでの取り組みとともにCO₂排出量削減に資する技術開発も進め、継続的な目標達成を目指す

■ 中期経営計画 – 投資計画 –

企業価値の向上

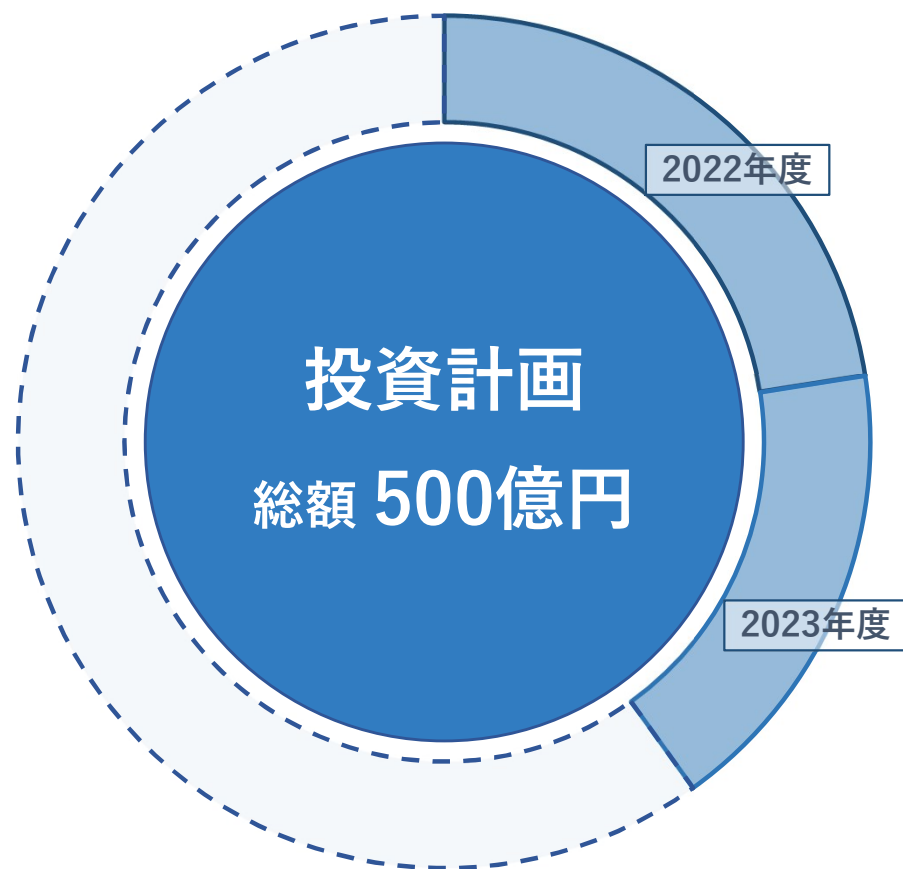
- 技術開発
- DXの推進
- 企業の認知度向上

事業領域の拡大

- 不動産事業
- 新規事業

人的資源の活用

- 人材育成
- 業務効率化



進捗率：約40%
(2024年3月末時点)



X-Innovation Center



【クロスイノベーションセンター(東京丸の内)の開設】



【石狩新港バイオマス発電所(北海道石狩市)】

■ 中期経営計画 – 資本政策(株主還元政策) –

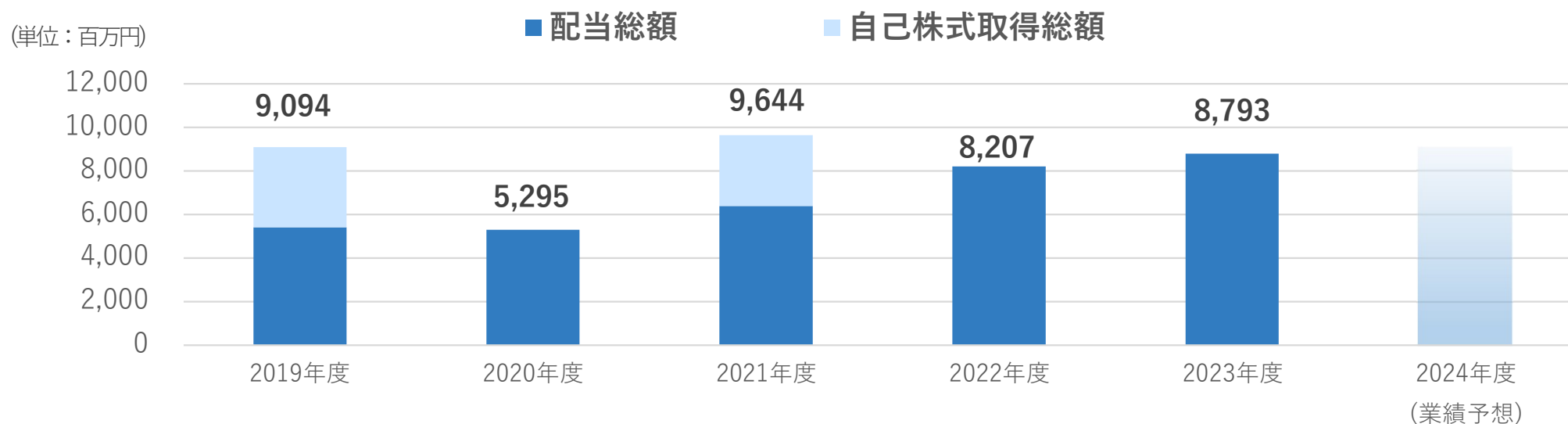
【基本方針】 安定的な配当を継続することを前提としたうえで、業績に応じた成果の配分を行うとともに、自己株式取得を機動的に実施する

【中期経営計画（2022～2024年度）期間中の方針】

連結配当性向 **70%以上**

業績に関わらず自己資本配当率（DOE）2.0%を下限とする

※自己資本配当率(DOE) = 年間配当総額(中間+期末) ÷ 自己資本

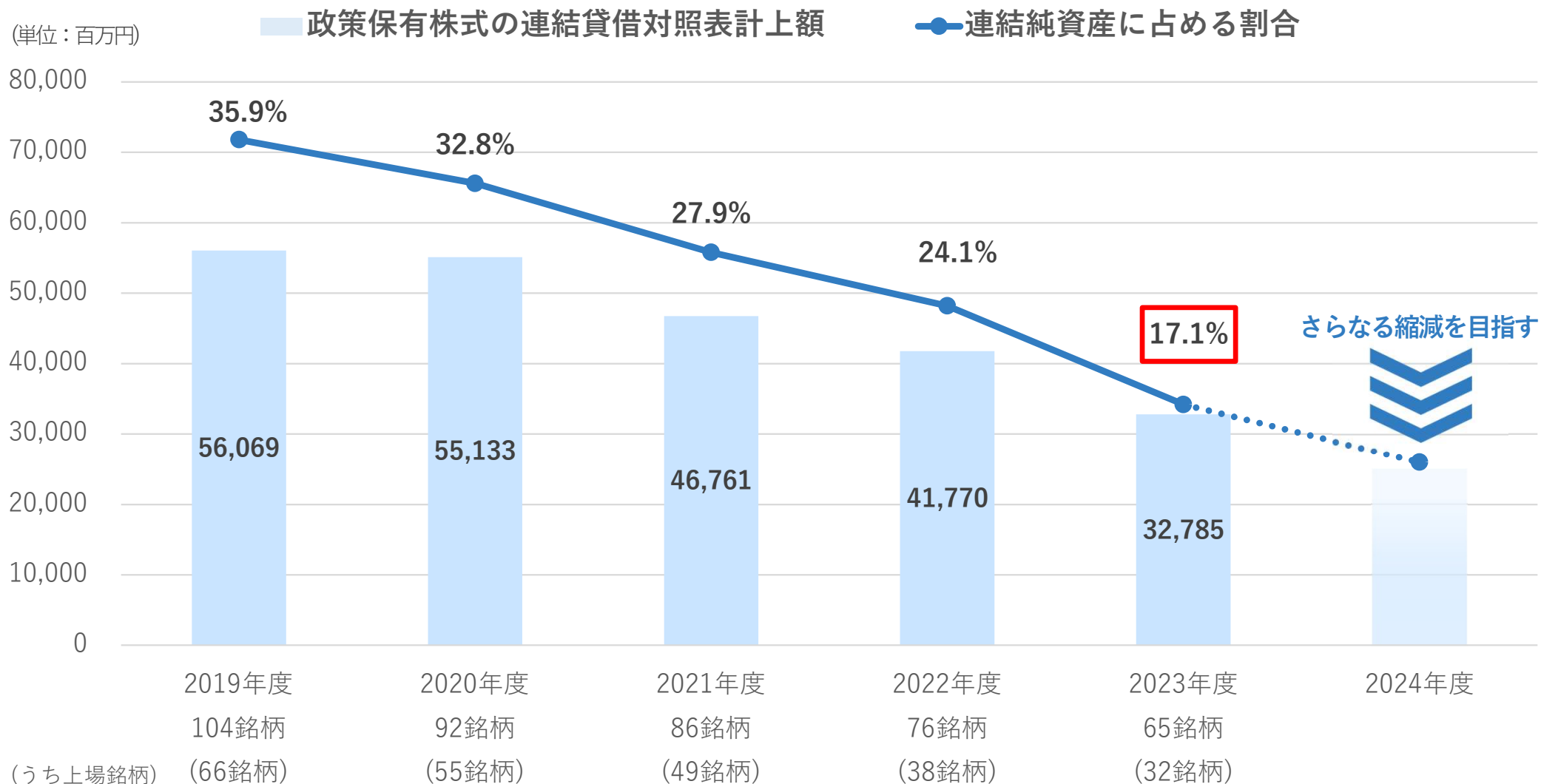


連結配当性向	55.2%	51.5%	51.0%	72.9%	70.4%	71.6%
連結総還元性向	92.8%	51.5%	76.9%	72.9%	70.4%	71.6%
中間配当金	41円	37円	65円	66円	77円	113円
期末配当金	102円	103円	107円	157円	160円	130円

※中期経営計画（2019～2021年度）期間中の株主還元政策：連結総還元性向50%以上かつ連結配当性向30%以上

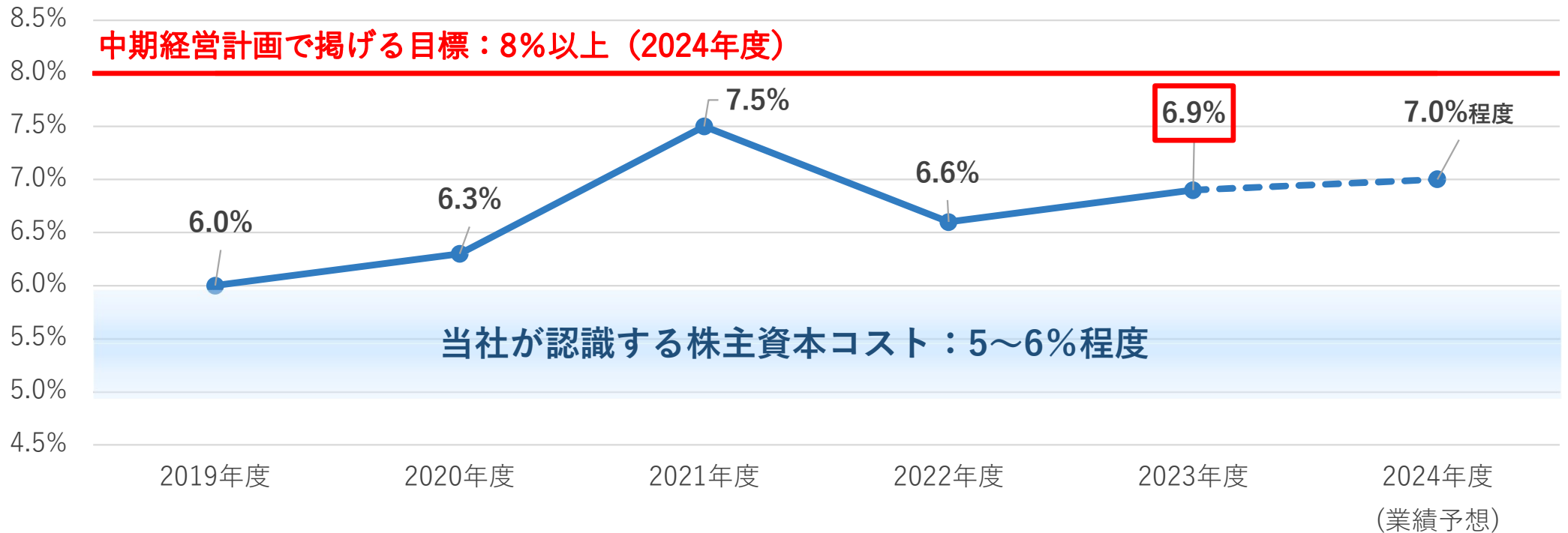
■ 中期経営計画 – 資本政策(政策保有株式の縮減) –

- 政策保有株式のさらなる縮減を進め、連結純資産の20%以下を目指す
- 売却代金は『2030年に向けたビジョン』実現のため、投資計画の原資とする



■資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

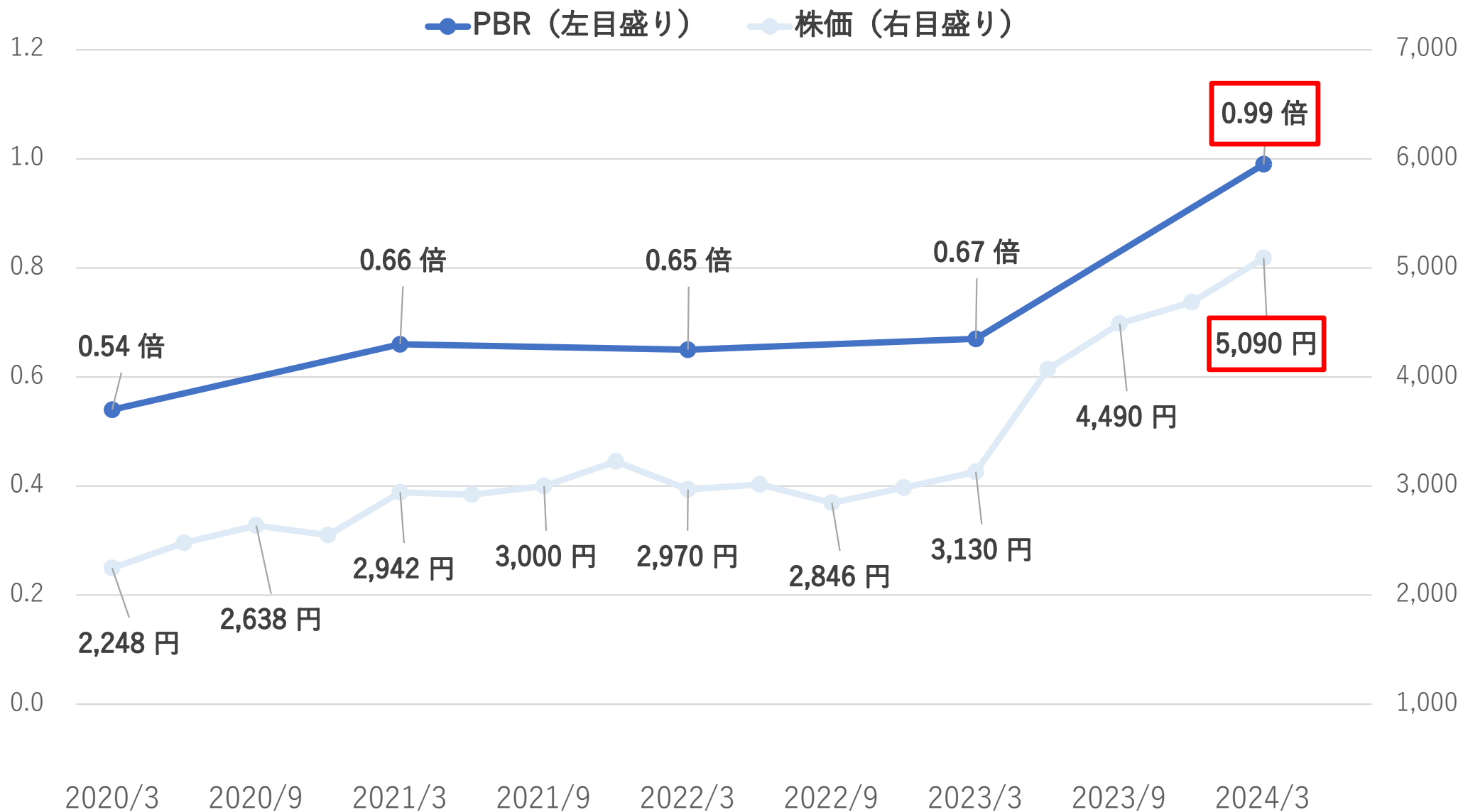
- 当社グループでは、資本効率を高めつつ収益力を強化することで企業価値の向上を図っており、その実現に向け『中期経営計画』においては、売上高・利益とともに資本収益性の指標となる『ROE』を財務目標として掲げ、事業を推進している
- 当社グループでは、安定的かつ持続的に事業を継続するためには、健全な財務基盤を維持することが重要と考えており、中期経営計画(2022～2024年度)で掲げる目標『ROE8%以上』は、健全な財務基盤に直結する自己資本の水準や株主資本コスト等を考慮して設定している



【Topics】

- ・中期経営計画で掲げる事業戦略の推進による収益力の強化、株主還元政策の着実な実施や政策保有株式の縮減による資本効率の向上を図ることで、株主資本コストを上回るROE8%以上を目指す
- ・情報開示のさらなる充実等により、株主資本コストの低減を図る

【参考】PBRと株価(末日)の推移



【トピックス】 サステナビリティに関する取り組み

《木造ハイブリッド構造を採用した社員寮の建築》 ～国交省「令和5年度優良木造建築物等整備推進事業」に採択～

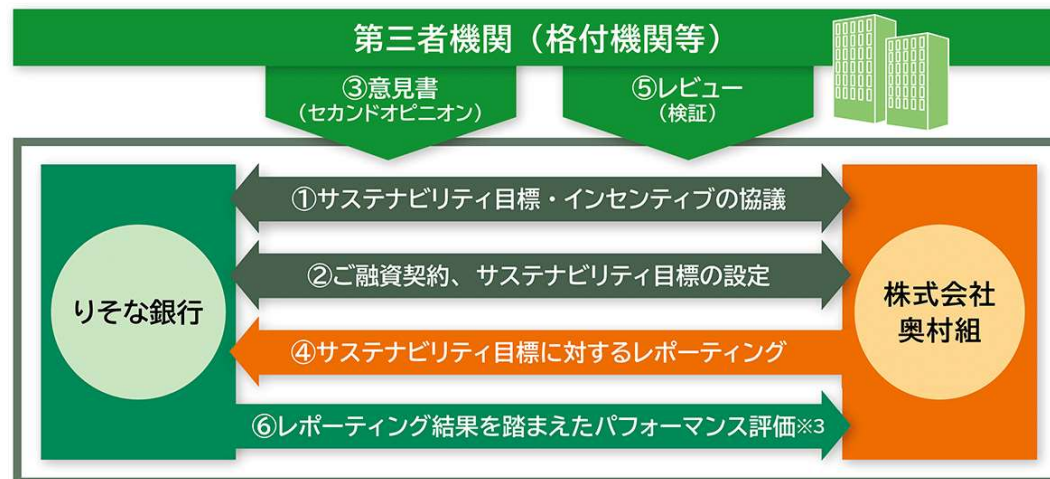
- ・ 8階建てのうち1～2階をRC造・3～8階を木造（一部RC造）とする木造ハイブリッド構造を採用
- ・ 約250m³の木材を使用する計画であり、約170tの炭素貯蔵量（CO₂固定量）を見込んでいる
- ・ 地震発生時等の水平方向に対する建物強度を確保するため、1～2階間に免震層を設ける中間階免震構造を採用
- ・ 株式会社シェルターが有する木質耐火部材を当社の木質耐火部材『SHIELD WOOD』として、木造部分の柱・梁に採用（同社とOEM契約を締結）



⇒ 今後、本建物の設計・施工で得られた知見やノウハウを活かして、建築構造物の木造化・木質化を推進する

《サステナビリティ・リンク・ローン (SLL) の契約締結》

- ・ SLLは、借り手のサステナビリティ戦略に整合した目標 (SPTs) を定め、その達成状況に応じて金利等の融資条件が連動する借入方法
- ・ 当社の『GHG排出量削減目標』をSPTsとする融資契約を株式会社りそな銀行と締結
- ・ 株式会社日本格付研究所からSPTsの合理性等についての第三者意見を取得している



※スキーム図：りそなホールディングス 公式ホームページより転載

【トピックス】 企業価値向上（企業の認知度向上）に向けた取り組み

【CMコンセプト】 建設が、好きだ。

当社は、1907年（明治40年）の創業以来、『堅実経営』と『誠実施工』を信条に、土木・建築を両輪とする事業を通じて広く社会に貢献するべく、着実に歩みを進めてきました。

『建設が、好きだ。』このシンプルな言葉を企業メッセージとし、長年にわたって建設の仕事に真摯に向き合ってきた私たちの誇りと情熱を表現しています。

《森川葵主演『建設LOVE！奥村くみ』シリーズ新CM》 2024年5月より放映開始



《メジャーリーガー 吉田正尚選手を起用したCM》 2024年1月より放映開始





人と自然を、技術でむすぶ。

奥村組

OKUMURA CORPORATION

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

